

# 市政懇談会

# 「市長と語る会」を開催しました

10月4日から17日にかけて5地域で市政懇談会「市長と語る会」を開催しました。

今年はテーマを「大規模災害に備えてく市の災害対応地域における災害対応」とし、参加者へ意見・提言などを事前にお聞きして回答や検討内容の充実を図りました。また、会場の配置を昨年に引き続き車座にし、親密に懇談を進めました。

どの会場でも、参加者から活発な意見・提案があり、また、市長の考えや思いなどを聞いていただきました。その内容の一部をご紹介します。

## 【秘書広報課】

※紙面の都合上、同じ内容の質問はまとめたり要約したり、正式な用語にしたりしている部分がありますので、ご了承ください。

## 実施日・会場

- 10月4日  
きこりセンター(小坂)
- 10月9日  
馬瀬中央公民館(馬瀬)
- 10月11日  
下原公民館(金山)
- 10月16日  
星雲会館(萩原)
- 10月17日  
下呂市民会館(下呂)

◆高齢者が長時間避難所に滞在するのは厳しく、避難所の整備や運営を進めるため、該当の自治会、施設管理者、行政、防災士などによる避難所運営委員会の設立を考えていますので、行政の支援をお願いしたい。

今回の災害を経験して避難所の運営については課題があり、見直しが必要であると

思っています。公共施設で、ある程度の容量になると学校の体育館などに限られますが、冬場は大変厳しいものがありますし、水の確保や入口の段差や階段など問題も多いのが現状です。

避難所運営には地域、自治会、防災士の皆さんのご協力が必要になりますが、そんな中で避難所運営委員会を設立いただけるのと、市としても大変ありがたいことだと思っております。今後も地域の皆さんと一緒に進めて避難所運営ができるよう、進めて行きたいと思っております。

◆今回の災害で従来より防災意識が上がったのではかと感じていますが、まだまだ早急に避難するという感覚がない人もみられます。一人一人の意識を高めるにはどうしたらいいか考えてほしい。

今回のように災害が繰り返



▲冒頭であいさつする服部市長＝10月11日、下原公民館

し起きるたびに皆さんの意識も上がってきて、段階を負うごとに避難される人が増えましたが、なかなか避難されないのが現実です。高齢化が進んでいる下呂市では、すぐに避難できない高齢者も多くみえます。民生委員さんや自治会、消防団の皆さんのお力をいただきながら、少しでも被害がでないように進めていきたいと考えています。

避難には、声かけをしていただくことが良い方法のようです。避難を迷う人もみえま

すので、皆さんで声かけをしていただきたいと思います。

◆雨の音で同報無線の広報が聞きづらいことがありました。また、避難情報など緊急を要するものはいつもと違った放送にするなど、工夫してほしい。

サイレンなどで注意喚起して放送するなど工夫する必要がありますと感じています。また、停電時は同報無線が唯一の手段になりますが、電池切れで受信できなかったということ

が多々あったようですので、戸別受信機の電池交換を啓発しているところです。

◆豪雨による林道、作業道の災害防止や、被害があった場合は補助対象となるような取り組みをしてほしい。

作業道は森林整備を行う事業主体である森林組合や造成組合が管理することが原則です。作業が終わった後はきちんと15m～20mおきに横断方向へ溝切りを行ったり、谷を横断している箇所では深く掘り込んだりするなど災害

防止に努めていただくよう指導やお願いをしています。今のところ作業道に対する災害復旧事業はありませんので、森林整備を行う際の作業道補修補助や交付事業の作業道改修補助などを活用していただきたいと思います。

◆災害による倒木の処理や倒木の恐れのある木はどのように対応していますか。

基本的には所有者の責任で処理するものですが、今回の台風による道路への倒木は、緊急かつ危険が伴うため市で処理しました。電線にもたれかかっている木については感電の危険があるため、中部電力で処理をしました。

倒木の恐れがあるものは中部電力で伐採したいということですが、所有者の理解がなかなか得られないようです。過去にライフライン保全対策事業で、中部電力、県、市が負担し電柱や電線周りの木を伐採しました。今回、この事業を行った地区については、停電を免れたということですので、県ではこの事業を行う計

画はないとのことですが、中部電力と市でこの事業を進められないか考えています。

◆これからの時代を担う小中学生に対し、今以上に防災教育を徹底する必要があると思います。

昨年、学校行事に優先して市の防災訓練に参加してほしいとお願いましたが、まだまだしっかり防災教育ができているとはいえません。今後、ぜひ取り組んでいきたいと思っています。

防災訓練や防災教育については、学校でもただ避難して終わりということではなく、内容の充実を考える必要があります。また、地域で声をかけていただき、防災訓練や防災教育に小中学生を参加させていただきたいと思っています。

◆自治会の役員としての災害時の行動や準備するものなどについてマニュアルがほしい。また、一時避難所には、最低限必要なものを示したものがほしい。

防災担当者として長く役員

をしていただいている地域もあるようです。災害時の行動などについては、どのような時にどのような方法でお伝えしていくのかなど検討したいと思っています。

一時避難所は、一時的に避難していただく所ですので、基本的には台風が過ぎるまで、警報が解除されるまでの避難所であるご理解ください。一時避難所のマニュアルについては、一定の基準はあるかもしれませんが、地域によつてさまざまなので、どのような時に一時避難所に集まるのか、何が必要なのかを地域の皆さんで考えていただくことが重要ではないかと思っています。

この他にも、各会場で皆さんの意見や提言、質問などがありました。紙面の都合で一部しか紹介できないことをお詫びします。

※この他の内容については、市ホームページでご覧いただけます。また、郵送でも対応させていただきますので、秘書広報課までご連絡ください。

【秘書広報課 ☎24・2222】



▲服部市長の発言に耳を傾ける参加者＝10月17日、下呂市民会館